

登録コード	T5A01300	開講年度	2026			
授業科目	建築環境工学実験(16T以降)				担当教員	高村 秀紀 他
英文授業名	Experiments of Environmental Engineering				副担当	中谷 岳史・南 健斗
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3時限～4時限前半	対象学生
講義室	工C3-103教室 工W2-403教室 工W2-502教室	授業形態	実験	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ					
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。			建築環境工学で学習した公式などを実際の現象に適応させることが出来るようになる。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			実験レポートの作成時には関連する情報を収集し、これらを参考に分かりやすいレポート作成ができるようになる。		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			実験テーマから課題を発見し、取得データから改題解決手法を提案できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要	担当教員が高断熱・高気密住宅の工法開発、換気システム開発、温熱シミュレーションの実務経験を活かして講義を行う。課題の設定に対し、自ら測定器を動かし、かつ解析した結果を理解した上で、レポートの作成が出来ることを目標とする。					
(5)授業計画	音、熱、光、空気、省エネ、快適などの6テーマについて隔週に実験を行う。レポートは、実験の目的、実験方法、実験結果、考察などについてまとめる。レポートは、項目、図表などを工夫して仕上げるので工学レポートの書き方を身につけることになる。 第1回 ガイダンス、実験の進め方、注意事項など 第2回 A班：温熱環境測定、B班：道路交通音測定、C班：自宅の温湿度測定、断熱性/快適性測定 第3回 レポート作成 第4回 A班：自宅の温湿度測定、断熱性/快適性測定、B班：温熱環境測定、C班：道路交通音測定 第5回 レポート作成 第6回 A班：道路交通音測定、B班：自宅の温湿度測定、断熱性/快適性測定、C班：温熱環境測定 第7回 レポート作成 第8回 まとめ 第9回 A班：都市環境、B班：昼光率測定、C班：床暖房の快適性評価 第10回 レポート作成 第11回 A班：床暖房の快適性評価、B班：都市環境、C班：昼光率測定 第12回 レポート作成 第13回 A班：昼光率測定、B班：床暖房の快適性評価、C班：都市環境 第14回 レポート作成 第15回 まとめ 授業アンケート					
(6)成績評価の方法	欠席は原則認めなく、レポートで成績評価を行なう。60 - 70点を可、71-80点を良、81点から90点以上を優、91点以上を秀と評価する。					
(7)成績評価の基準	すべてのレポートを提出し、かつ内容が必要最低限の内容をクリアしていれば、60点以上79点以下の点が付く。自分自身で工夫を加えた分析や、レポート作成技術が高いなどの加点要素があれば、81点以上の点が付く。					
(8)事前事後学習の内容	事前事後学習時間は授業時間（2時間15分×8回）以外に30時間（2時間*15回）が必要である。自分自身の生活の中で、授業中に学んだことがどのような現象としてあるのかをより正しく、より深く考えた上、レポートを作成する。					
(9)履修上の注意	本授業では場合によってノートPCの持参が必要である。詳細については、事前に案内する。					
(10)質問,相談への対応	各教員が授業の際に質問・相談方法を指示し、授業後、あるいは、メールで対応する。					
(11)その他	本授業はアクティブ・ラーニングによる学習法が含まれており、学修者の能動的学修による汎用的能力の育成も図る。					
【教科書】	建築環境工学実験用教材，日本建築学会，丸善出版株式会社，2,090円（税込）					
【参考書】	指定しない					